

<p style="text-align: center;"><b>会 議 録</b></p>	<p>日時 令和 6 年 7 月 26 日（金） 14：00～15：00</p>	<p>場 所 柏葉尾苑 地域交流室</p>	<p>記 録 鈴木</p>
<p>会議名 令和 6 年度第 2 回 運営推進会議</p>	<p>参加者 門池地区連合自治会会長 門池地区連合自治会副会長 駿河厚生会役員理事 かどいけ地域包括支援センター 駿河厚生会理事長 河野義文 柏葉尾苑生活相談員 手塚春菜 柏葉尾苑介護支援専門員 鈴木了太</p>		
<p style="text-align: center;"><b>議 題</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>内 容</b></p>		
<p>1. 開会の挨拶</p> <p>2. 入所者状況の報告</p> <p>3. 活動状況の報告</p>	<p>「お集まりいただき、ありがとうございます。本日もよろしく願っています。」</p> <p><b>【入退院】</b> 6/16に肺炎で入院（池田病院）、6/27 退院 7/8に肺炎で入院（池田病院）7/12 転院（市立病院）現在も治療中</p> <p><b>【入退所】</b> 入退所 0 人 入居者に変動なし</p> <p>※レジメ 4～7 ページ目参照。</p> <p><b>【行事】</b> 手塚「かどいけ公園にあじさいの花を見に外出した。今年の梅雨は天気の良い日が多く、多くの入居者様にあじさいを楽しんで頂けた。」</p> <p><b>【研修】</b> 手塚「今年度は、認知症実践者研修を 4 名の介護職員が受講している。」</p> <p><b>【ヒヤリハット】</b> 6 件報告</p> <p><b>【インシデント】</b> 4 件報告</p> <p><b>【事故報告】</b> 1 件報告</p> <p>A 様「ヒヤリハット、インシデントの件数が多く感じる。ヒヤリハット、インシデントの原因が職員の出入りの関係で新人職員が対応しているから起こる事故なのか、それとも入居者様が原因で起きているのかわからない。またどの程度の事故から家族への報告しているのか。」 手塚「職員に関しては、1 名新たに入職した介護職員がいるが、そのせいで起きたインシデントなどではない。どちらかと言えば、職員の仕事に対する慣れや入所して 1 年以上経過した中で、利用者様の身体的状</p>		

	<p>況が変化しているにも関わらず、以前と変わらない対応をしていることが原因で起こってしまったものが多いと考える。また、ご家族に対しては、ご面会の際に、アザや傷を見て驚かれないよう、出来る限り連絡を行い、説明をしている。ご家族の方から“もうそんなことは連絡しなくて結構です”とお話があった場合には、都度そのご家族に合わせて対応している。」</p> <p>理事長「施設の法人としてヒヤリハットやインシデントはちょっとしたことでもあげるよう指示しているので件数が多くなっている（職員の共通認識にして改善していく様に）。大事なのは事故を無くすことで、今回の事故も職員が“大丈夫だ”と思い込んでしまい事故に繋がってしまった。しっかり対策して次に繋げて欲しい。」</p> <p>B様「最近、コロナ感染も増えているが、施設では面会の制限はしているか。」</p> <p>手塚「面会は、午後に居室まで入れるように緩和したが、今回のコロナでまた制限を厳しくするようなことはしていない。面会者には、マスク着用と検温を行ってから（施設に）入るよう徹底している。」</p> <p>理事長「丘の上保育園では、もうすでに先生も園児もマスクはしていない。高齢者施設でも、マスクを少しずつ外せるように、とした矢先に、またコロナが広がっている状況。」</p>
<p>4. 介護支援専門員から</p>	<p>鈴木「認知症が原因の行方不明者が増加している。昨年は1万9039の方が、認知症が原因で行方不明になっており、11年連続で最多更新している。柏葉尾苑でも施設の敷地外に出してしまうケースはないが、職員が気づかずに入居者様が玄関まで来てしまうケースが2件あった。行方不明や離設には鍵をかけるという対策が思い浮かぶが、入居者様の行動を制限してしまう恐れがある。ただ鍵をかけるだけではなく、その方が“なぜ外に行きたいのか”“どのように感じているのか”など、その方を理解しようとする事が大切。柏葉尾苑では行方不明になるリスクと入居者様の快適さどちらもバランスの取れた支援が行えるように努めていく。」</p> <p>A様「実際、行方不明者となると包括でもよく相談はあるのか？」</p> <p>C様「そうですね。県外からの捜索願の要請も届く。行方不明届を出して、7年経つと“死亡”の取り扱いとなるが、その間の7年間は、行方不明でも年金は入ることになる。」</p> <p>理事長「門池校区で、行方不明の話はあるのか。」</p> <p>B様「門池校区では、あんまりそういった話は聞かない。」</p>
<p>5. おやつ提供</p>	<p>メニュー：梅シロップかき氷</p>
<p>6. その他</p>	<p>A様「柏葉尾苑は、待機者の数とかどうなのか。」</p> <p>手塚「有難いことに、申し込みが10～十数件ある状況が続いている。」</p> <p>A様「高齢者人口のピークが2040年で、徐々に減ってはいくと思うが、それまでの間、（入所）施設って足りるのか。国は出来る限り住み慣れた土地で最期を迎える地域包括ケアシステムを推奨している。とい</p>

う事は、本来目指すは在宅でしょ？そうすると、訪問介護とか訪問診療とかがベースになっていくと数年前から言われているけど、進んでないような…」

C様「現状、お金を払えば施設に入れる状況である。」

理事長「在宅サービスである訪問介護や訪問看護、小多機や看多機の経営や人材確保が難しく、事業所の数が減っている。その為、在宅での生活が難しくなっているのではないか。介護される人は増えているが、介護する人は減っている現状がある。(駿河厚生会では) 外国人労働者よりも先に ICT や労働環境をまず整える必要があると思っている。その受け皿をそろえてから、最終的に必要であれば外国人労働者を、と考えている。」

次回の地域運営推進会議 9月20日(金) 14:00~